

# 会議等速報

令和4年1月27日

件名	令和3年度 第3回鹿児島市食育推進委員会	作成課	保健政策課
日時	令和4年1月21日(金)14時00分～15時00分		
場所	市役所 西別館1階 東部保健センター講堂		
出席者	公募委員3名、学識経験者1名、消費者団体等の代表者1名、 教育福祉関係団体の代表者3名、保健医療関係団体の代表者4名、 農林水産業関係者の代表者2名、食品関係団体1名 計14名(欠席3名)		
市出席者	事務局：保健政策課長、健康づくり係長、係員		
会次第	1 開会 2 議事 議題 第四次かごしま市食育推進計画について ア パブリックコメント手続の実施結果について イ 第四次かごしま市食育推進計画(案)について 3 その他 4 閉会		
主な意見等	議題 ア パブリックコメント手続の実施結果について (委員) コロナ禍で食育に関する取組が難しい状況にある。委員の皆様が所属している場では、どのような現状か。 (委員) 学校では、アクリル板を立てて給食を食べている。ただ、低学年だと食事中に会話をしてしまったり、また、食後に会話をしてしまったりという課題はある。 (委員) 保育所等では、0～2歳はどうしても食事中の介助は必要なので、今までより距離は取ってはいるが、食事形態は変えることが難しい。3歳以上になると、「コロナ」ということをメディア等で見たり聞いたりしているので、食事中の会話を控えるように指導すると少しは理解してくれるが、完全な黙食は難しい状況である。食事をとる際のグループ分けを少人数制にしたり食べ終えた順で部屋から出ていくようにするなどの工夫をしている。 (委員) 以前は給食の時間というグループを作ってみんなで楽しく食べましょう、という指導であったが、現在はスクール形式で黙食としている。また、食後の歯磨きで感染が広がるという指導が市からあったため、間隔をあけたり、うがいをする際気を付けるなどの注意をして指導している。 (委員) 調理実習の際も、出来上がった料理は持ち帰るなど、食事をみんなで楽しく食べる、ということがここ2年間実施できていないという現状がある。 (委員) 番号2の対応として、「口腔機能の低下及び発達不全がみられる市民に対し～」に変更するとあるが、口腔機能の低下より発達不全の方を先に記載した方が良いと思う。 (事務局) そのように修正する。		

(委員) 発達不全とは子どものものなのか。

(委員) 噛めないなどということを発達不全としている。口腔機能が上がらないから低下してしまうということもあるので、小さい頃から機能をあげていく取組(トレーニングなど)をしていく必要がある。

#### イ 第四次かごしま市食育推進計画(案)について

(委員) 「行事食」とあるが、その地域を守るために必要なものだと思う。しかし最近では雑煮などの正月料理を食べない人が増えていることに驚いた。雑煮1つをとっても、地域で様々な形態がある。この文化は若い世代に伝えていかないといけないと感じた。

(委員) 学校給食では行事食を提供するようにしている。おそらく病院でも提供していると思う。小さい頃から行事食に触れあう場所を作ることが大切なのではないか。また、家庭科の授業で正月料理について調べる、というように給食だけでなく各教科と食育を絡めて実施していくことも大切だと思う。

(委員) 給食では黙食を実施しているので、給食中の放送をよく聞いてくれている。その際に行事食の話をするなどしている。また、黙食になったことで、食事に集中するので、残食が減ったという利点もある。

(委員) 住んでいる地域によって食事(食文化、郷土食)が異なるということ子どもたちに伝えていかないといけないのではないかと。ただ食して終わりではなく、作り方や多くの人に関わって料理が出来上がっているということ等も伝えていかないといけないのではないだろうか。

(委員) 出荷する食材についても季節(旬)が関係なくなっているように感じる。

また、学校給食は献立が先に決まっており、使用する食材が決まってしまう。しかし、たまたまその時期に多く収穫できる食材もある。旬の食材の方が鮮度も味も良いので、全学年は難しくても学年ごとにその食材を使用するなど何か工夫ができないものか。

行政の方でそのつなぎ役をしてもらえると有り難い。

(委員) 郷土の食材を給食に提供したり、各学校に出前授業を行ったりという取組をしている。桜島小みかん、桜島大根は地域に残したい食材100選に選ばれているので、今後も引き続き、子ども達に伝えていきたい。

(事務局) いただいたご意見を今後の取組の参考にさせていただきたい。

(委員) コロナ禍での宴会(外食)は、1テーブルの人数を制限し、アクリル板を設置、御酌をせずに自席で食事を楽しむというものになってきている。3010運動を進めてきたが、このコロナ禍での宴会形式になり、食品ロス(食べ残し)も減っている印象がある。

(委員) 子どもの肥満が問題になっているが、コロナ禍で運動不足もあり更に肥満が増加しているような気がする。食事に興味を持って自宅でバランスよく食べるということが大切であり、また、後の生活習慣病の予防にも繋がるので様々な場で食育の普及啓発に努めて欲しい。

(委員) 保育所等で食育に取り組んでいる。食に興味を持たせるために園庭などで野菜を育てることも行っている。収穫した食材を使ってクッキングを行い、作る楽しみから食べる楽しみへと一連の流れを作って食育を行っている。コ

ロナ禍ではあるが、子どもの育ちという面から通常の生活を崩さないように  
ということで、感染対策を行いながらクッキングも実施している。